

【教育民生常任委員会所管分】

番号	所管課	要件	意見・質問・要望	調査結果
1	みとよ市民病院	みとよ市民病院について	みとよ市民病院の建物が傾いているが、なぜ完成前に確認できなかったのか。	建物が傾いているという事実は確認されていないが、外壁や内装等の不具合が発生しており、建設会社から修繕工事施工計画書が提出されており、修繕工事を実施する予定とのことである。
2	学校教育課	子供の遊び場について	学校施設を子供の遊び場として使えないのか。	平日の放課後等に学校職員がいる場合は、状況に応じて個別に対応する場合があるが、夜間や休日は職員が不在であり、個別の申し出については安全管理面から対応が難しい状況である。夜間・休日においては、市に学校施設の利用申請手続きを行っていただいた上で施設を開放しているとのこと。
3	みとよ市民病院	みとよ市民病院について	みとよ市民病院の人气がないと耳にするが、いかがか。 病院の経営状況は。 利用しやすくするにはどうしたらいいか。	令和4年度のみとよ市民病院の決算については、新病院移転後、入院・外来患者とも大幅に増加しており、料金収入も増加したが、減価償却費や企業債償還の負担ため、単年度収支は赤字となっている。収支改善のため公立病院経営強化プランを策定した。病床利用率の向上や医師の確保等を進め、市民に親しまれる病院を目指したいとのこと。
4	教育総務課	豊中地区新設小学校について	豊中町で行われている学校統廃合について、住民の合意形成は十分になされたのか。	統合に向けた協議を行うために、地域協議会を設置し、協議の結果、統合という結論に至っている。今後も、地域協議会等において統合に向けた協議を進めるとのこと。
5	みとよ市民病院	みとよ市民病院について	みとよ市民病院について、赤字と聞いているが解消の見込みがあるのか。	令和5年度決算については、正式な数字がまだ出ていないが、減価償却費の負担増などで、今後数年は厳しい経営状況であるとのこと。令和5年度に策定した公立病院経営強化プランに基づいた具体的な取組を進め経営改善に努めていきたいとのことである。
6	スポーツ振興課	宝山湖ボールパークについて	宝山湖ボールパークの運用や維持管理は適切に行えているのか。 民間委託の方がいいのではないが カマタマーレの練習場にしてメリットはあるのか。	スポーツ振興や施設管理を行うことを目的に市が設立した一般社団法人に管理を委託しており、目的に沿って適切に業務を遂行している。 カマタマーレ讃岐とは、地域活性化に関する協定を締結しており、練習場を誘致したことにより、大会等に訪れた子どもたちがプロを間近に感じることができるほか、交流人口の増加や地域のにぎわい創出にもつながっている。
7	みとよ市民病院	みとよ市民病院について	みとよ市民病院のずさんな工事の責任の所在や、完成検査で発見されず検収を上げた責任は。 また、地元医師会との連携は取れているのか。	今回の不具合に関しては、三豊市工事請負契約約款に基づき、契約不適合として修繕の請求をしており、施工業者から修繕工事施工計画書が提出され、修繕工事を実施している。また、地元医師会とは、会合に出席して情報交換するなど、連携強化を図っている。
8	学校教育課	国際バカロレア教育について	国際バカロレア認定校の準備に動き出すと議会報告で書かれてあったが、いつまでの認定を目標とされているのか。	子どもたちがこれから活躍する社会は、人口減少、人工知能などの技術革新により社会構造や雇用環境が大きく変化する時代になる。このような時代に求められる教育とは、さまざまな変化に積極的に向き合い、他者と協力して課題を解決していく力を育む教育である。基礎・基本の定着はもちろんのこと、仲間とコミュニケーションを図りながら、さまざまな考えを出しあい、協力して課題を解決していく「探究学習」が重要視されている。 三豊市では国際バカロレアの研究校を設け、令和6年度から3年程度をかけて研究することから認定校へと進めていく計画である。その後は、その取組を、全体へと組織的に広げていき、児童生徒主体の授業にすることで、三豊市の児童生徒が「グローバル人材」へと育つよう進めていくとのことである。

番号	所管課	要件	意見・質問・要望	調査結果
9	生涯学習課	文化財の耐震化について	三豊市の文化財(歴史的建造物)の耐震化の状況は。 今回の能登地震の震度6強で多くの神社、仏閣が被災している現状を考えると心配である。	三豊市内には多くの有形文化財(建造物)があり、国宝や重要文化財については調査により通常の安全性は確保しているが、それ以外の建造物については不明である。 個別の耐震工事については、所有者からの相談を受けながら対応している。
10	教育総務課	豊中地区新設小学校について	豊中町の5つの小学校が合併するようだが、旧小学校はどのような活用を検討されたか？	廃校となる小学校の跡地利用については、現在、行政利用を含め協議・検討中である。地域の方々からは再編統合準備会を通してさまざまなご意見を伺っており、それらも踏まえ、十分に検討していく。
11	みとよ市民病院	みとよ市民病院について	病院の赤字スタート改善のメドを早急に示し、健全な市政を希む。	昨年度策定した公立病院経営強化プランに基づいた具体的な取組を進め経営改善に努めていきたいとのことである。
12	教育総務課	小学校統廃合について	小学校統廃合について旧町一校の方針なのか？ 議会の考えは？ 今後の残る旧町(基準内人数)の十分な住民アンケートが必要	令和6年度に基本方針改訂版を策定した。前回の基本方針を尊重し、小学校については地域のつながりもあることから、旧町に1校としている。 今後は、再編整備の対象となる地域で、保護者等へのアンケートを実施するとともに、地域住民との対話集会等を開催し意見を聞きながら再編整備を進めるとのことである。
13	子育て支援課	子育て施策について	子ども子育て世代への対応が悪い。 結婚祝金などは所得制限があっては意味がない。 世帯年収300万ではだれももらえない。	本年3月に新たな5年間のまちづくりの指針となる三豊市第2次総合計画(後期基本計画、2024年度～2028年度)を策定し、その基本目標の一つに「子どもが健やかに育ち、生涯笑顔で過ごせるまち」を掲げ各種施策に取り組んでいるところであり、今後とも積極的に取り組んでいくとのこと。
14	健康福祉部	予算編成について	老人に使う金を若者に使ってほしい。	本年3月に新たな5年間のまちづくりの指針となる三豊市第2次総合計画(後期基本計画、2024年度～2028年度)を策定し、基本目標の一つに「子どもが健やかに育ち、生涯笑顔で過ごせるまち」を掲げ各種施策に取り組んでいるところであり、今後とも積極的に取り組んでいくとのこと。
15	みとよ市民病院	予算編成について	三豊市民病院への無駄遣いをまちづくり推進隊へ回した方が喜ばれます。	みとよ市民病院へは、公営企業会計繰出基準に基づいて、地方交付税等を財源として一般会計から繰出金を支出している。市民に慕われる医療機関として、将来に向けて三豊市の在宅医療などの地域医療の拠点施設としての役割が増している。経営を安定させていきたいとのこと。